

2022年11月18日

通貨ニュース

フィリピン:11月金融政策会合～7月以来となる75bpsの大幅利上げを実施

フィリピン中央銀行(BSP)は17日に開催した金融政策会合で、政策金利の翌日物リバースレポレートに従来の4.25%から5.00%へ引き上げた(図表1)。6会合連続での利上げとなり、利上げ幅は前回の50bpsから75bpsへ拡大した。同時に上限金利の翌日物貸出ファシリティ(OLF)レートおよび下限金利の翌日物預金ファシリティ(ODF)レートも同じ幅だけ引き上げてそれぞれ5.50%と4.50%とした。なお、ブルームバーグの事前予想でも75bpsの利上げの予想が有力であった。75bpsの利上げは7月以来となった。

声明文では、利上げ幅拡大の背景として国内のインフレ高進を指摘。10月消費者物価指数(CPI)は前年比+7.7%と9月の同+6.9%から大きく加速した(図表2)。主な要因は供給網の混乱に伴う食料品価格の上昇であり一過性であると見られているが、10月にかけても大規模な台風の被害を受けており、影響が数か月にわたる可能性も考えられる。また、引き続き需要面からの二次的なインフレリスクも煽る状況となっている。かかる中、BSPは今年以降のインフレ見通しを22年は+5.8%(+0.2%ポイント)、23年は+4.3%(+0.2%ポイント)、24年は+3.1%(+0.1%ポイント)とし、それぞれ小幅に見通しを引き上げた。

本会合を前に国内では7～9月期の実質GDP成長率(速報)が公表されており、結果は前年同期比+7.6%と4～6月期の同+7.5%に続いて底堅い推移となった(図表3)。インフレの高進や国内金利上昇による消費活動への影響が懸念されたものの、個人消費の勢いは止まらなかったほか、民間企業部門の設備投資も堅調さを保った。こうした内容も今回BSPが金融政策の正常化を加速させる材料となったものと考えられる。

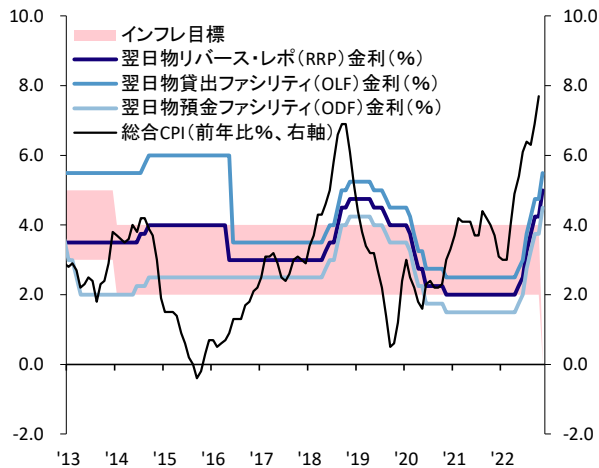
メダラBSP総裁は会合後の会見にて、PHP安と輸入物価上昇によってインフレ抑制が困難になる点に警戒し、積極的な利上げを実施したことを説明。今月上旬には既に本会合での75bpsの利上げの可能性を示唆していたが、これは米国の金融政策に追随する意図があったものと考えられる。もともと、今後の利上げについては今回よりも小幅になるといった見解を示している。次回会合のスケジュールが年内最後のFOMCの直後に予定されていることもあり、国内のインフレと米国の金融政策の動向を勘案した決定が下されることとなりそうだ。

米国のインフレと利上げ観測を巡りドル高に調整が入っているが、PHPは依然安値水準での取引となっている(図表4)。BSPが積極的な利上げを進めるものの、米国との金利差が拡大しないこと、内需の改善に付随して輸入の規模も高止まりしており、実需のPHP売りが根強いことが要因と見られる。今後にかけても、FRBをはじめ各国の中央銀行が金融引き締めを継続すると予想される中で景気減速懸念を指摘する声は強まっており、リスク心理が改善に向かうとは考えにくい。年末から年初にかけての相場要因としてはクリスマスシーズンでの個人消費やOFW(海外の出稼ぎ労働者)による本国への資金送金の状況が注目

市場営業部
マーケット・エコノミスト
堀 堯大
03-3242-7065
takahiro.hori@mizuho-bk.co.jp

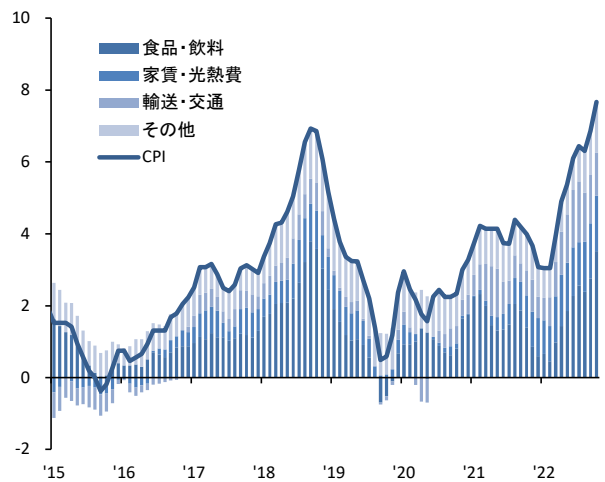
されやすいが、今年に関してはFOMCにおける今後の利上げ予想が最大の材料となるだろう。12月会合では利上げペースの減速はほぼ織り込まれつつあるが9月時点からドットチャートで示される政策金利水準が上方修正される可能性もあり、12月FOMCの結果を踏まえた相場の変動には注意が必要だろう。

図表 1: 政策金利水準とインフレ目標



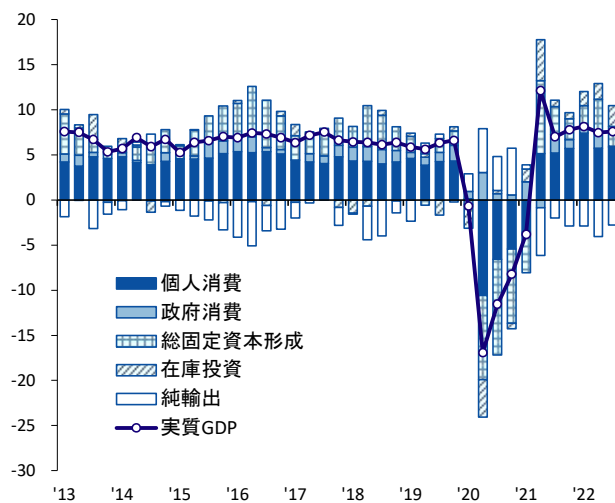
出所: フィリピン中央銀行、フィリピン国家統計局、Bloomberg、みずほ銀行

図表 2: 消費者物価上昇率の推移(前年比%、%ポイント)



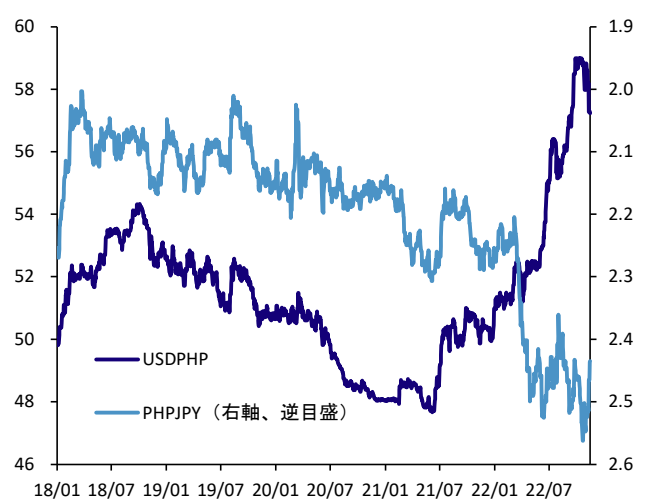
出所: CEIC、みずほ銀行

図表 3: 実質 GDP 成長率の推移(%、%ポイント)



出所: CEIC、みずほ銀行

図表 4: PHP の動向



出所: Bloomberg、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。